

インド独立75周年・日印国交樹立70周年記念

インド 手しごとの世界

～木・竹・布・革～

2022.10.8(土)～10.30(日)

The Magic of Gifted Hands

インド政府ナショナル・アワード認定の

5人の伝統工芸士の匠の技

10.8～10.10 (土～月・祝)

インディアメーラー 神戸メリケンパーク

India Mela 2022, KOBE MERIKEN PARK

10.13・14 (木・金)

兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館 (淡路市)

AWAJI GREENHOUSE, Awajishima

10.15 (土)

奈良県立万葉文化館ギャラリー (明日香村)

Nara Prefecture Complex of Man'yo Culture, Asuka

10.16 (日)

なら工芸館 (奈良市) Nara Crafts Museum

10.18～10.20 (火～木)

和歌山県立近代美術館 (和歌山市)

Wakayama Prefectural Museum of Modern Art (MoMAW)

10.21 (金)

大阪国際交流センター (大阪市) Osaka International House

10.22 (土)

大阪てしごと市・キタカガヤフリー 2021 オータム&アジアブックマーケット (大阪市)

トークショー「インドの魔法の手 インド伝統工芸の世界」 Osaka Hand Crafts Market

10.26 (水)

堺 堺市役所 Sakai City Hall

10.27 (木)

白雲館 (近江八幡市) Haku'unkan, Omihachiman, Shiga

10/29・30 (土・日)

「インディア祭 KYOTO 2022」

India Matsuri KYOTO 2022, Kyoto

2022年10月、インド政府 外務省 インド文化関係評議会 (ICCR) 派遣の5人の伝統工芸士の来日を実現！
インドの手しごとの技——木工、竹細工、絞り染め、木版染め、革細工——の実演を、
関西・近畿の訪問先で行います 全員が、インド政府の表彰「ナショナル・アワード」の認定者です
他では見られない、インド伝統の技をご堪能ください！

モハンマド・マトルーブ 【ナショナルアワード認定】

Mohammad Matloob / 木工彫刻

ウッタール・プラデシュ州の出身。10歳のときに東デリーのシーランブルに移り、名工として知られた叔父のアブドゥル・レーマン・カーンおよびシャビル・フセインに入門。ユネスコ手工芸部門優秀賞やシルパ・ゲル（匠の称号）も得て、ムガル帝国の伝統と様式を守り続ける職人の一人。

工程 まず細かな浮彫のデザインを紙に描き、それを木板に貼りつけます。木は白檀、ローズウッド、エボナイトなどが用いられます。細い工具を使って複雑なレリーフが彫られます。



カトリ・アブドゥル・シャクール・ハジオスマン 【ナショナルアワード認定】

Khatri Abdul Shakur Hajiosman / 絞り染め (バンドニー)

グジャラート出身。

バンドニーはサンスクリット語のbandh（縛る、結ぶ）に由来し、グジャラート語で「結び目」を意味します。布を縫って結び目をつくった上で染色することで、紋様を施す技術です。インダス文明でも行われていたともいわれ、6世紀のアジャンター石窟壁画でバンドニー紋様をみることができます。

工程 木版や型紙を使って下図を布に転写した後、糸で布を括って防染の加工を行います。染色・乾燥後、結び目をほぐされますが、さらなる染色のために第2、第3の縛りを施す場合もあります。バンドニーはおもにドゥッパッタ（大判のショール）やサリーなどを制作するため、綿や絹の生地に施されます。



ラル・チャンド・チーパ 【ナショナルアワード認定】 *Lal Chand Chipa* / 泥防染 (パーグル)

ラージャースタン州パーグル村出身。30人ほどの職人を抱える工房を経営。国内の有数の工芸展に出品、国立ファッション工科大学（ニューデリー）やプリンス・オブ・ウェールズ博物館（ムンバイ）で研修ワークショップを実施。

工程 パーグルとはラージャースタン州の泥防染のブロック・プリントです。ロルダ（木のブロック）を使用し、布にミッティ（植物性の防染剤）を擦っていきます。通常、まず布は藍（青）ピターメリック（黄）によって濃い緑色に染められます。その後、布を洗ってミッティを取り除き、赤などの別の色で染めなおします。防染の部分が赤く染まり、また下地の緑色もわずかに染まって美しく発色します。



マネンドラ・デカ 【ナショナルアワード認定】 *Manendra Deha* / 籐・竹工芸

アッサム州出身。同州バルベタ県に籐・竹工芸の工房を設立し、後進のために研修ワークショップを実施しています。

工程 籐や荻藁（マット）の制作は、集めた竹を割り、さらに細かく削いで竹ひごを作ることから始まります。用途に合わせた太さ・厚さの竹ひごを作るには手のほか、ナイフやダオ（インド北東部で用いられる刃物の一種）が使われます。その後、細かい竹ひごを織り合わせて作品を仕上げます。インドの北東部は竹が非常に豊富で、あらゆる生活用品のみならず、家屋や橋なども竹で作られます。



ラージャーゴバル・チンナタンビ 【ナショナルアワード認定】

Rajagopal Chinnathambi / 皮革工芸

工程 南インドの連邦直轄領ボンディシェリ（ブドゥッチェリ）の皮革工芸は、浮き彫りや皮紐組み編みなどの技術が特長です。それらの加工の後、おもにタン（濃い茶色）か茶と黒の混合色のいずれかに着色されます。浮彫には職人のオリジナリティが発揮される一方、組み編みは伝統的な技術です。

インドの年間の原皮生産枚数は約1億8000万枚で世界第1位、牛革については世界第1位です。インドのレザーの質の高さは古来有名で、数多くのタンナー（なめし工場）や生産工場があり、世界の有名ブランドがインドの革加工技術に注目しています。



～お知らせ～

〇工芸品の販売がおこなわれる会場もあります。詳細については各会場にお問い合わせいただくか、在大阪・神戸インド総領事館Twitterで最新情報をご確認いただけますようお願い申し上げます。
〇イベントの内容は都合により変更または中止する場合がございます。予めご了承くださいませ。